

第 2 期与謝野町ひと・しごと・まち創生総合戦略「未来への約束」

令和 4 年度評価検証報告書

(内部評価版)

令和 5 年○月

与 謝 野 町

目 次

1	第2期与謝野町ひと・しごと・まち創生総合戦略について	1
2	評価報告書について	1
3	人口動態	1
4	評価の方法	6
5	基本目標別の評価	
	基本目標1	6
	基本目標2	10
	基本目標3	13
	基本目標4	20
	基本目標5	23

1 第2期与謝野町ひと・しごと・まち創生総合戦略について

人口急減や超高齢化という直面する大きな課題に対し、政府一体となって取り組み、各地域がそれぞれの特徴を生かした自律的で持続可能な社会を創生することを目指し、国においては、平成26年に地方創生関連法案を策定し、「まち・ひと・しごと創生本部」を設置しました。

これを受け、本町においても人口減少問題の克服と成長力の確保のために「まち・ひと・しごと創生本部」を設置し、住民等で構成された「与謝野町まち・ひと・しごと創生有識者会議」からの提言を踏まえ、平成27年2月に「与謝野町ひと・しごと・まち創生総合戦略（以下、与謝野町総合戦略という。）」を策定し地方創生の取り組みを開始しました。現在は、令和元年に閣議決定された「まち・ひと・しごと創生基本方針2019」を踏まえ、令和2年3月に策定した第2期与謝野町総合戦略に基づき、令和6年度を目標年度として地方創生関連事業を推進してきました。

なお、令和5年度から、与謝野町総合戦略の各施策は第2次与謝野町総合計画・後期基本計画に包含し、地方創生プロジェクトとして推進していくこととしています。

2 評価報告書について

地方創生の推進には、中長期的な視点で取り組む必要があるため、地域の課題や実情に応じたKPI（Key Performance Indicator＝重要業績評価指標）を設定するとともに、外部有識者の知見や町民の意見を活用しながら、データによる効果検証を行い、効果的かつ効率的なPDCAサイクルを実践することが重要です。

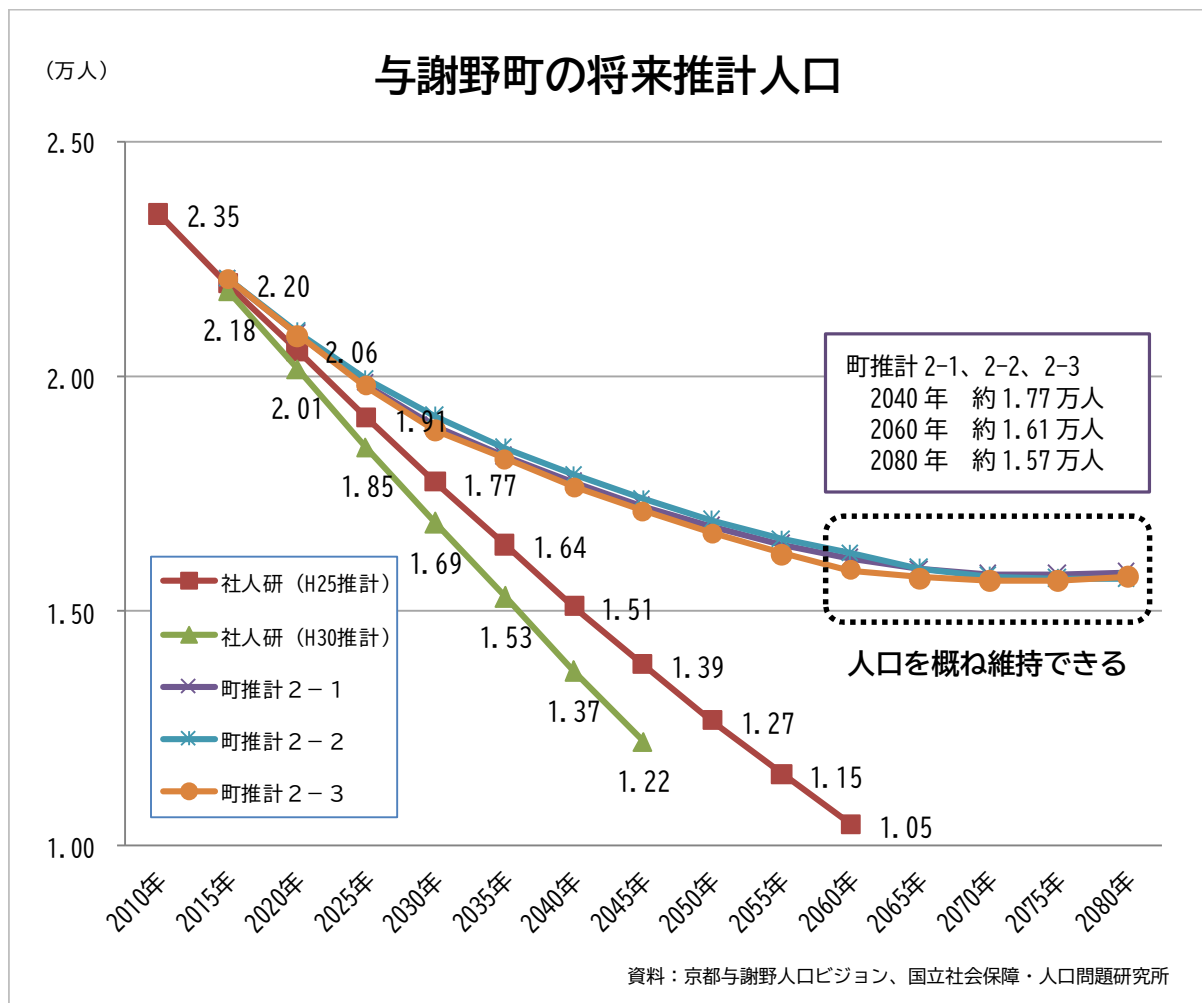
本町では、与謝野町総合計画審議会や内部推進体制において、第2期与謝野町総合戦略における取り組みを点検、評価及び効果検証するPDCAサイクルを構築しています。本報告書は、急速に変化する社会経済情勢に対応した地方創生の充実、強化に向けた、本町の取り組み点検、評価及び効果検証した結果を取りまとめたものです。

3 人口動態

（1）与謝野町の将来推計人口

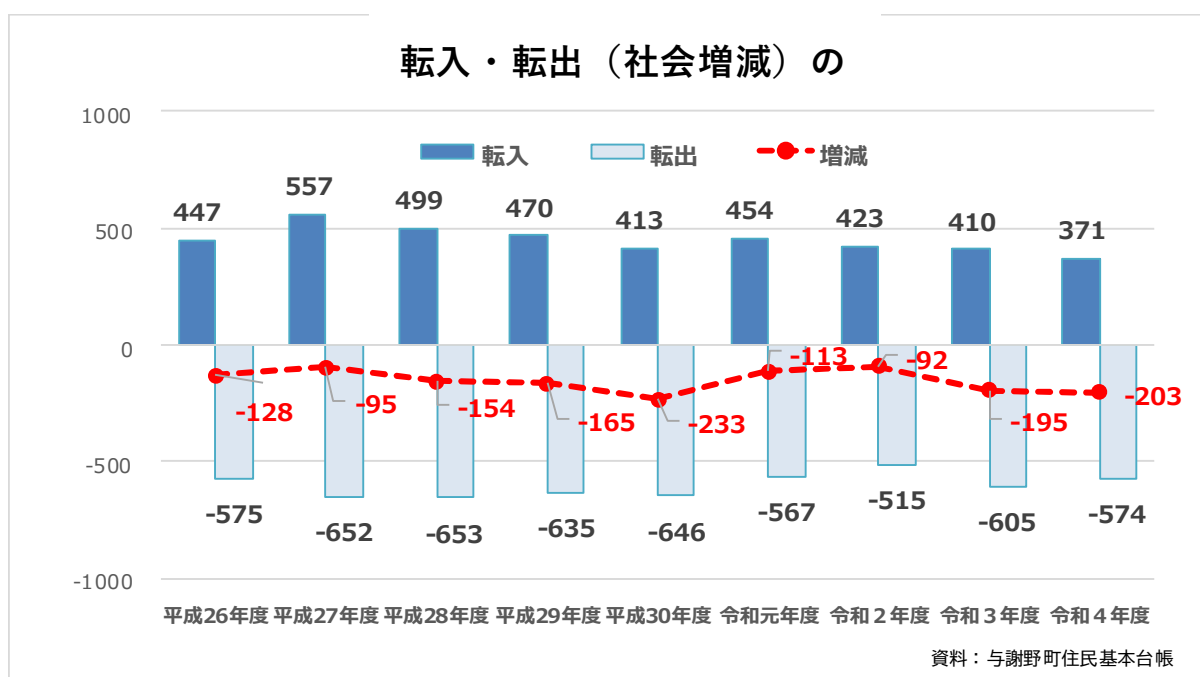
平成27年に策定した「京都市与謝野人口ビジョン」では、2060年以降に「16,000人」前後で人口が落ち着くことを長期的目標として掲げています。しかし、令和2年国勢調査では20,092人となっており、これは国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」といいます。）が平成30年に推計した令和2年人口（20,145人）と同程度の水準であり、町推計の減少幅を上回っており、想定より人口減少が加速しています。

本町としては、国等の試算に基づき、一人の女性が生涯生む子どもの数の平均値である合計特殊出生率が2040年には2.07となる目標を立てるとともに、2030年に社会減（転出超過）解消、以降5年ごとに150人の社会増（転入超過）を目指し、2040年には「17,800人」で留まる人口ビジョンが望ましいと考えており、この目標達成に向け対策を講じていく必要があります。



(2) 転入・転出（社会増減）の推移

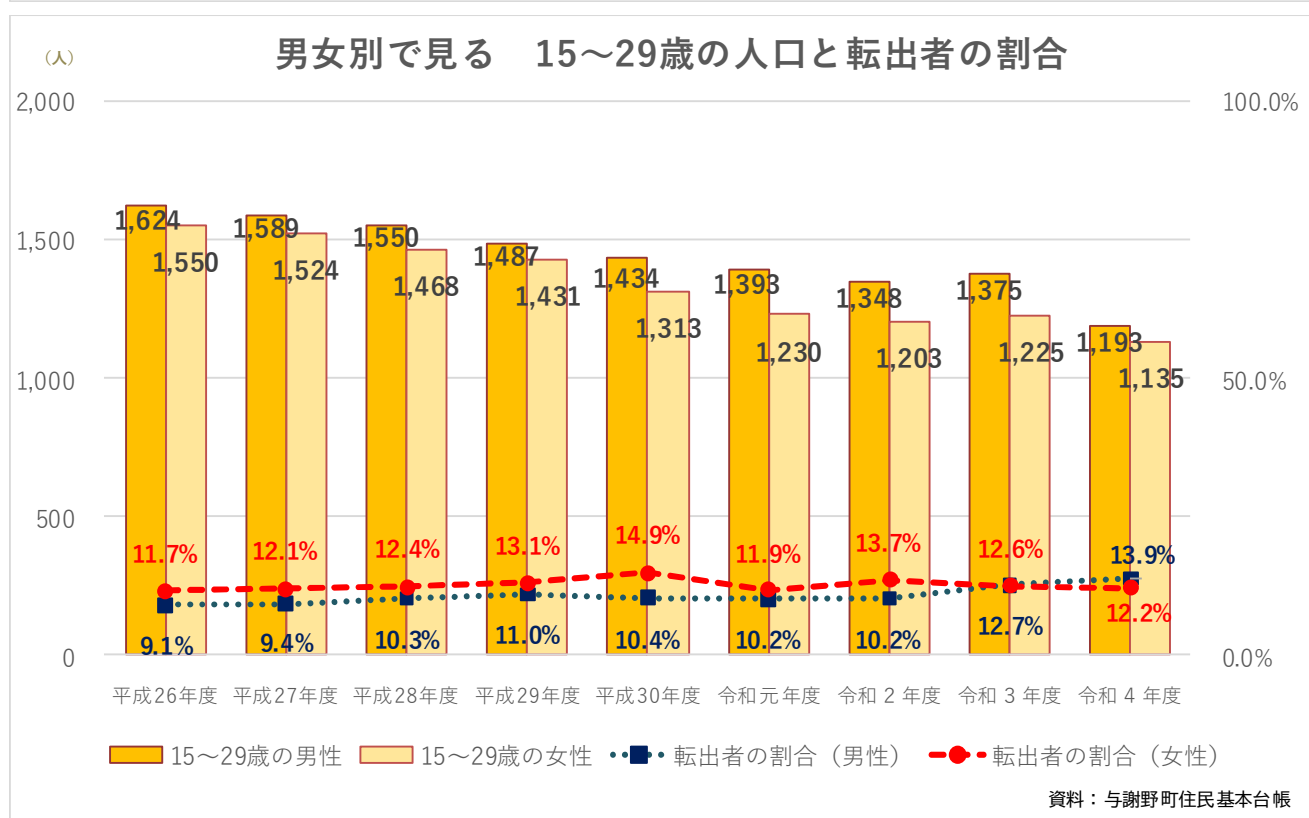
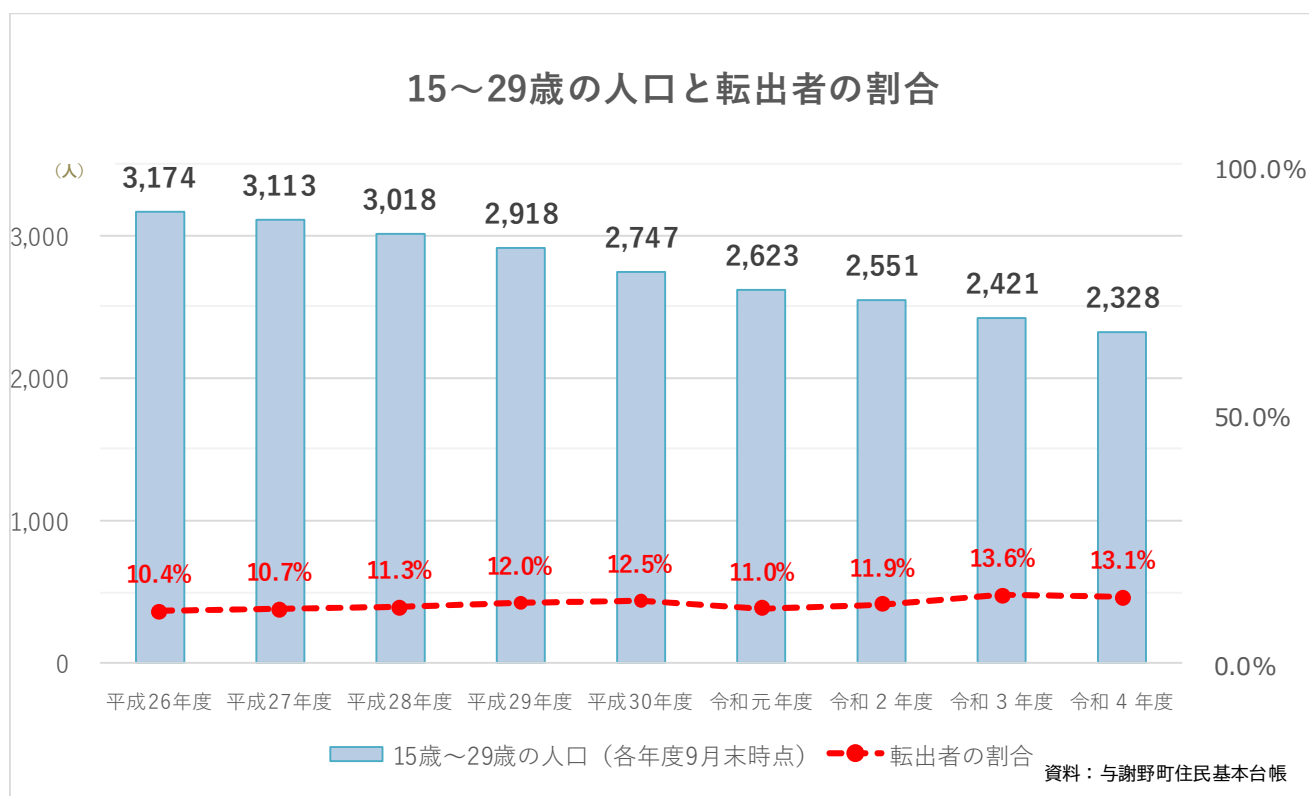
転入・転出ともに横ばいとなっています。



(3) 進学や就職等による転出が想定される年齢層の推移

進学や就職等による転出が想定される15～29歳のうち、約1割が転出しており、平成26年度から令和2年度にかけて転出者の割合は微増しています。

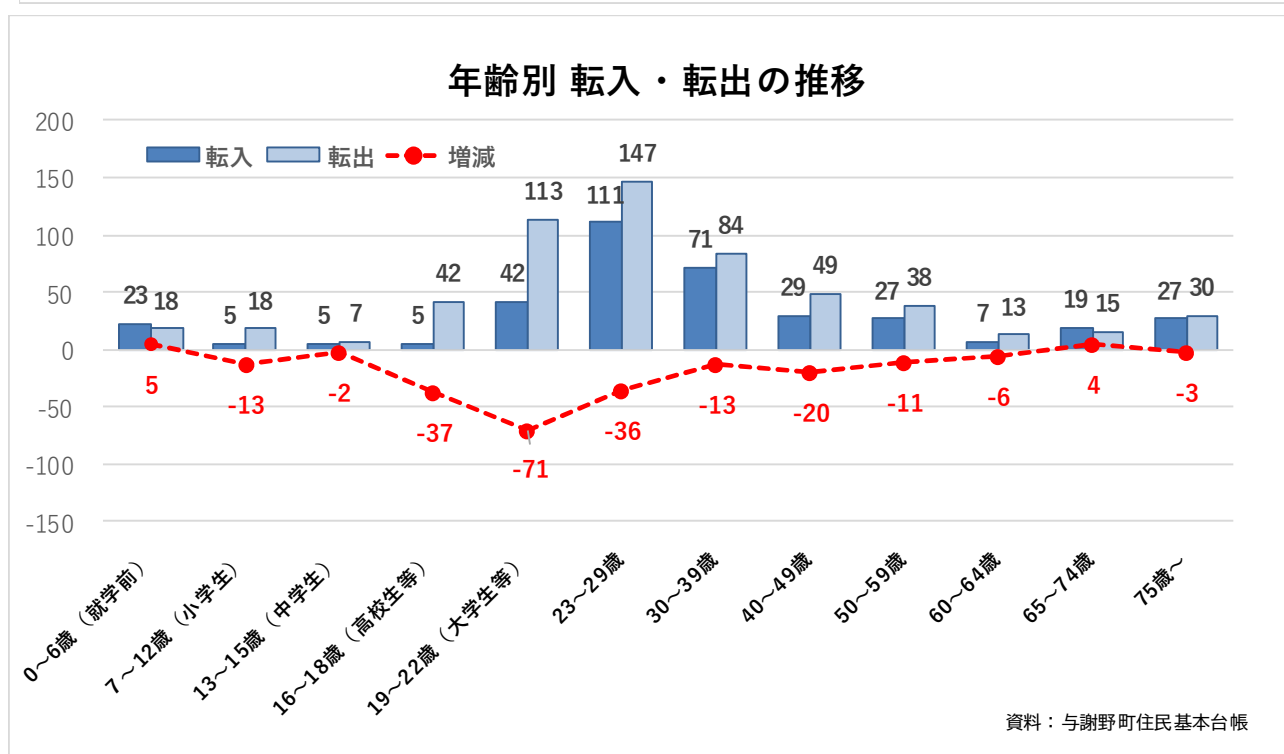
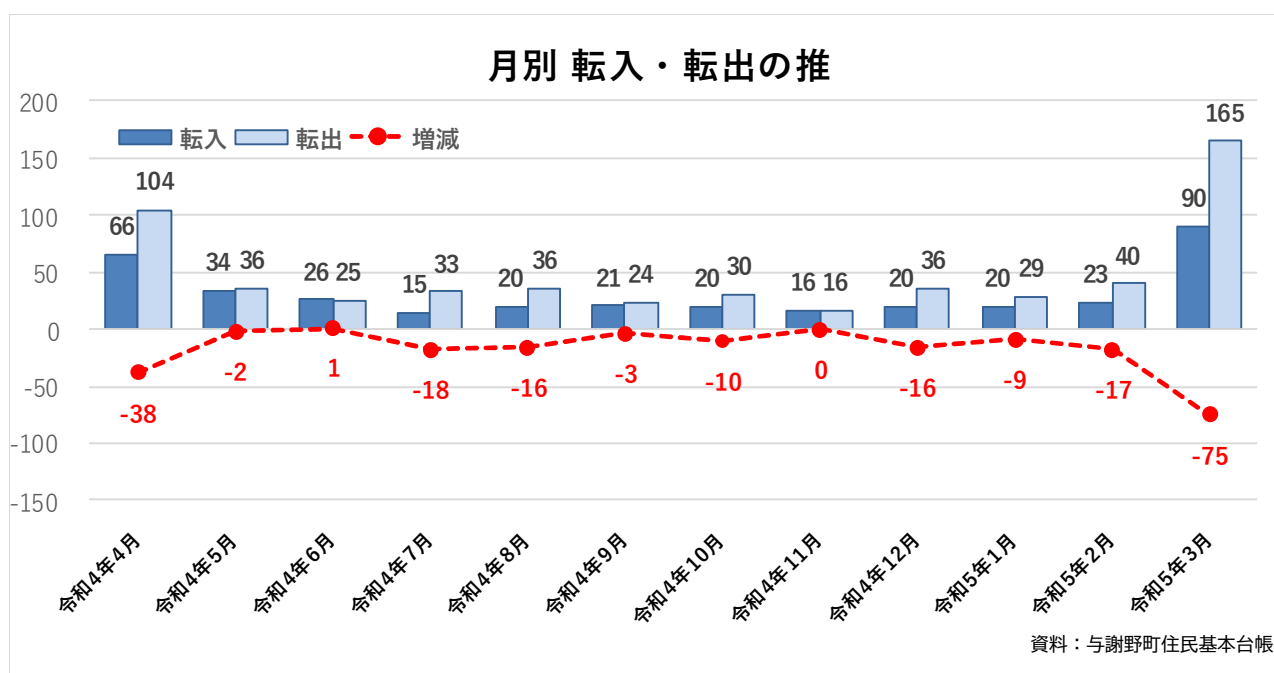
男女別でみると、女性の方が転出者の割合が高い傾向にありますが、令和3年度から男性の転出者の割合が増加し、男性と女性の転出者の割合がクロスしています。



(4) 令和4年度における月別・年齢別の転入・転出の推移

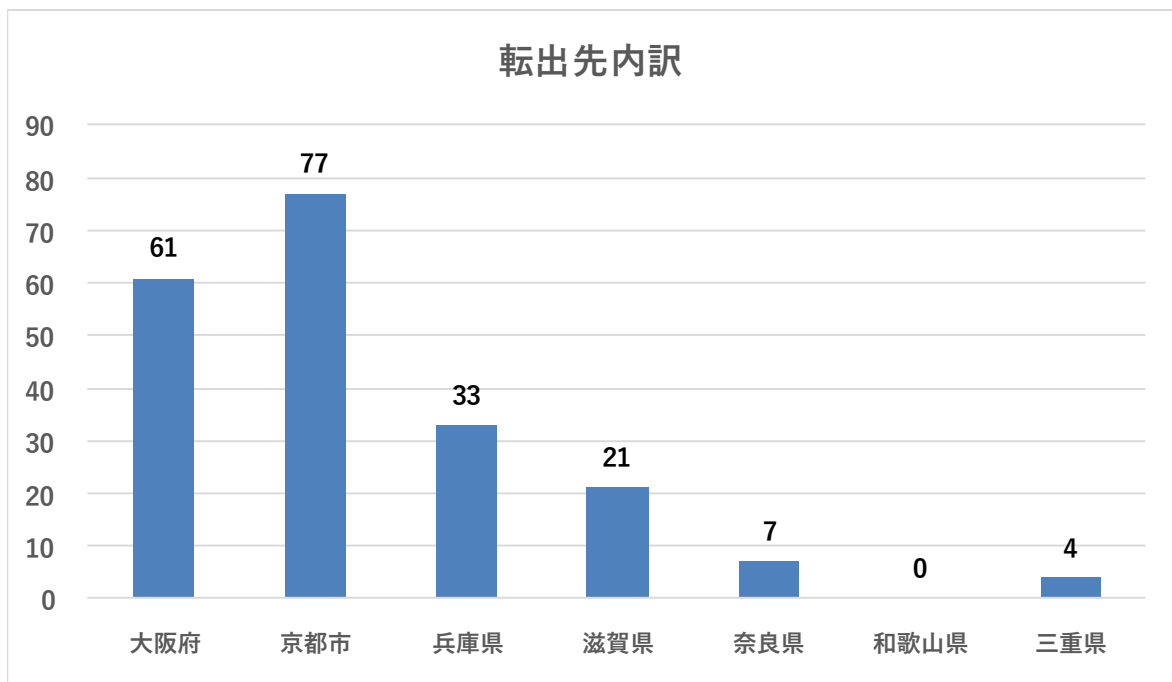
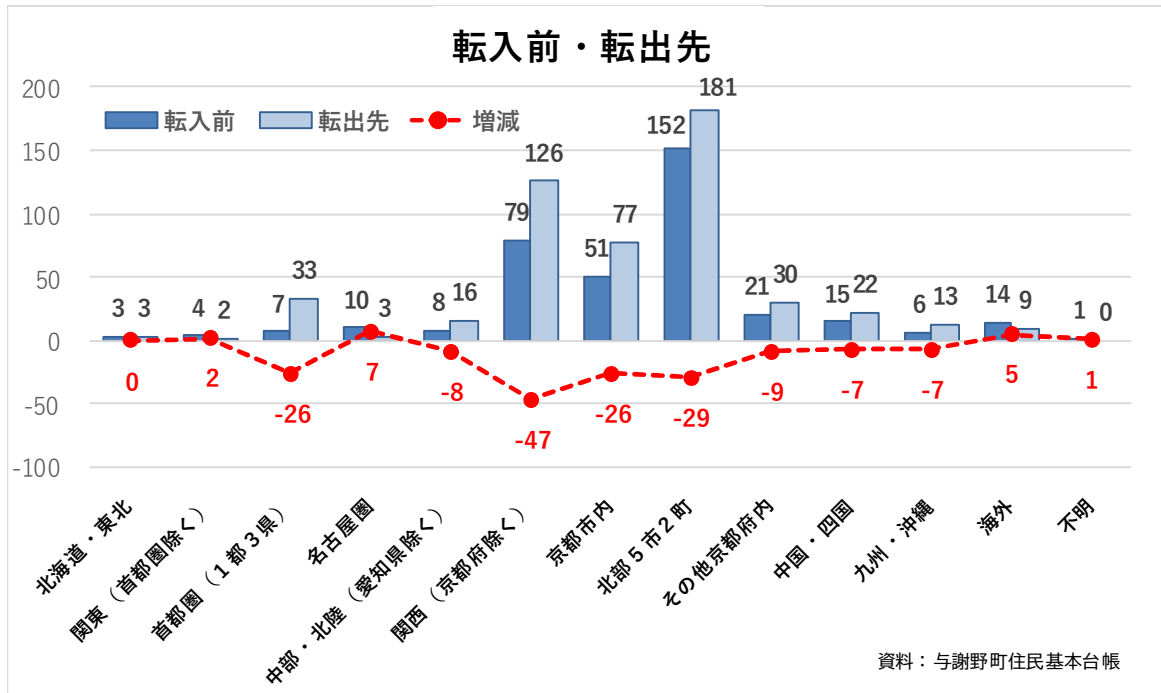
住民異動にはライフステージが大きく影響します。例えば、高等教育機関への進学や就職においては、同年代の多くが概ね同じタイミングで移動する時期となり、転入・転出の動きが大きくなります。月別では、4月と翌3月の異動が多く、その他の月は1年を通して転入・転出件数の差は大きくありません。

年齢区分について、特に22歳以下をライフステージ（就学前・小学校・中学校・高校相当・大学相当）で区切ると、高校卒業相当年齢から大学卒業もしくは大卒後就職年齢相当で転出超過が大きくなっています。



(5) 令和4年度における転入前・転出先

京都府北部5市2町圏域間での異動が最も多く、転入・転出のおよそ8割は関西圏間での異動となっています。転出先を関西圏の都道府県（京都府は京都市内、北部5市2町、その他京都府内で区分）別でみると、大阪府と京都市が多くなっています。



4 評価の方法

評価については、事業担当課により第2期与謝野町総合戦略の基本目標別に定めた数値目標とKPIの達成率を明らかにするとともに今後の方向性について整理し、まちづくり及び行政改革推進本部会にて客観的に成果の把握を行うとともに、与謝野町総合計画審議会により、基本目標別評価及び全体評価を行い、各委員の意見を付すこととします。

【達成率の計算方法について】

目標値が累計数値の場合：達成率＝（最新値－基準値）÷（目標値－基準値）

目標値が年間数値の場合：達成率＝目標値÷実績値

【進捗評価（目標達成までの計画の進み具合）について】

A：計画どおり、またはそれ以上の成果・実施があった（累計：20%以上、年間：100%以上）

B：計画を下回る成果・実施があった（累計：12-20%未満、年間：60-100%未満）

C：計画の半分程度の成果・実施があった（累計：8-12%未満、年間：40-60%未満）

D：計画を大きく下回る成果・実施があった（累計：8%未満、年間：40%未満）

なお、基準値が平成30年度のもので、かつ目標値を累計としているものについては、実態に即した成果や実績を把握する必要があることから、次のとおり目標値を変更しました。

【目標値の変更について】

変更前：目標値＝令和2年度から令和6年度までの5カ年度分の見込値の累計

変更後：目標値＝令和元年度から令和6年度までの6カ年度分の見込値の累計

5 基本目標別評価

（1）基本目標1

与謝野を愛し、多様性を認め合いながら、新しいモノやコトを創出する地域人財をつくる
～よさの愛あふれる“よさの人(びと)”の育成、活躍、そして、チャレンジを応援～

【数値目標の評価】

数値目標	地域人財育成プログラムの参加者数		
基準値	目標値（累計）	最新値（累計）	達成率
898人[H30]	2,660人[R6]※	1,384人[R4]	27.6%【A】

※目標値変更

【KPI の評価】

(ア) 地域で育む地域人財の育成

K P I	よさのみらい大学登録者数		
基準値	目標値（累計）	最新値（累計）	達成率
750 人[H30]	2,190 人[R6]※	1,043 人[R4]	20.3%【A】
取組概要	よさのみらい大学は、与謝野町をキャンパスに見立て、新しいモノやコトを発見し、出会いと交流を通じて、自分、地域、まちの未来を描き主体的に行動する「人財」の育成を目的に平成 29 年度に開学。新型コロナウイルス以降、オンライン併用による開催も行い、講師との双方向のやり取り、参加者同士の関係づくりを進めてきました。		
今後の方向性	講座受講者の年齢層としては 50～70 代が多く、若い世代を巻き込んだ講座展開、広報強化が課題。地元の高校を巻き込んだ講座の検討や他事業等との連携を図ります。		

※目標値変更

K P I	生涯学習講座、公民館講座等開催回数		
基準値	目標値（累計）	最新値（累計）	達成率
912 回[H30]	2,202 回[R6]※	1,496 回[R4]	45.3%【A】
取組概要	中央公民館・加悦地域公民館・生涯学習センター知遊館において、高齢者を対象にした講座や、子どもたちを対象にした土曜講座・夏休み講座等を実施し、生涯学習の推進を図りました。		
今後の方向性	公民館活動は、地区公民館活動でも実施をしており、一定充実している中、上記 3 施設で実施する事業やよさのみらい大学との住み分けや効率化を検討していく必要があります。		

※目標値変更

K P I	出前講座、体験講座等の実施回数		
基準値	目標値（累計）	最新値（累計）	達成率
308 回[H30]	812 回[R6]※	558 回[R4]	49.6%【A】
取組概要	与謝野町の特徴的な文化の一つである俳句に親しむ機会として、地域の俳句愛好家が講師となって小中高生に教える、地域ぐるみでの俳句教室を開催しました。 また、町内小中学校、宮津天橋高校から依頼を受け、町長や町職員による出前講座を開催し、与謝野町のまちづくりの現状や課題、取り組み等を伝え、ふるさと教育を推進しました。		
今後の方向性	俳句教室については、引き続き地域の方との連携により実施し、小中高生に俳句を親しむきっかけを提供していきます。 出前講座については、今後のまちづくりの方向性を共有し、協働によるまちづくり・地域づくりを考えるきっかけにもなる制度であるため、より一層制度の周知を図りながら積極的に推進します。		

※目標値変更

(イ) チャレンジできる担い手育成

K P I	保幼小中高の多彩な相互組み合わせによる連携・交流取組数		
基準値	目標値（累計）	最新値（累計）	達成率
15 件[H30]	93 件[R6]※	66 件[R4]	65.4%【A】
取組概要	小高・中高スポーツ交流事業、幼小接続推進事業、音楽フェスティバル（小中学生参加）、小学生陸上記録会、阿蘇海駅伝競走大会、子ども発表会（小中高生参加）を開催し、保幼小中高それぞれのステージや各学校がつながる環境を構築しました。		
今後の方向性	引き続き、幼児期から小中学校・高等学校と、様々な教育課程において、緊密な連携、円滑な接続、切れ目ない支援となるよう、既存の取り組みを進めるとともに、時代の要請や社会の変化などに応じ、柔軟な対応に努めます。		

※目標値変更

K P I	キャリア講座や職場体験等の実施校数		
基準値	目標値（累計）	最新値（累計）	達成率
11 校[H30]	67 校[R6]※	46 校[R4]	62.5%【A】
取組概要	与謝野町の地域経済、暮らし、歴史、これまでの培われてきた知恵・技・伝統を知る機会として、小学5年生は社会見学を行うとともに、中学2年生は職場体験学習を実施しました。		
今後の方向性	地域の特色ある産業を学ぶとともに、職業観・勤労観を身に付けるため、引き続き社会見学・職場体験等を実施していきます。		

※目標値変更

K P I	国際交流プログラム参加者数		
基準値	目標値（累計）	最新値（累計）	達成率
77 人[H30]	310 人[R6]※	175 人[R4]	42.1%【A】
取組概要	<p>多様性を認め国際感覚を磨きグローバルな視点で地域経済・地域社会づくりを担うグローバル人財を育成する「アベリスツイス連携プログラム（高校生派遣/大学留学）」について、令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響で実施できておりません。</p> <p>また、多様な文化や価値観を理解できる将来のグローバル人材育成のための素地を培うことを目的に実施しているイングリッシュキャンプ（小学5・6年生対象）については、感染症対策を講じながら実施しており、リピーターも増え、徐々に事業が浸透・定着してきています。</p>		
今後の方向性	<p>アベリスツイス連携プログラムは、新型コロナウイルス感染症の収束次第、事業を再開します。それまでの間は、これまでの参加者により、まちの近況を伝え合うなど交流体制を維持しています。</p> <p>また、イングリッシュキャンプは、本事業を支える地元の英会話サークルの方々、近隣市町で英語が堪能な日本人サポーター、外国人、アベリスツイス訪問経験者、高校生など、関係者の意識も高く、それぞれの強みを活かしたアイデアや関わりによって充実したプログラムが展開されており、今後も支援を継続していきます。</p>		

※目標値変更

K P I	外国語指導助手等による外国文化等の発信回数		
基準値	目標値（累計）	最新値（累計）	達成率
42 回[H30]	258 回[R6]※	95 回[R4]	24.5%【A】
取組概要	外国語指導助手による外国語の学習や外国文化に対する理解を深める取り組みとして、「広報よさの」へのコラム寄稿、イングリッシュキャンプへの派遣を行いました。		
今後の方向性	過年度新型コロナウイルス感染症の影響により、新規外国語指導助手の来日が遅れていたが、今年度からは遅れることなく、適正配置を行っている。引き続き、外国文化等の発信を実施していきます。		

※目標値変更

(ウ) 共感でつながる人の輪づくり

K P I	若者・女性等の区役員数		
基準値	目標値	最新値	達成率
1 人[R1]	24 人[R6]	0 人[R4]	0%【D】
取組概要	定年延長など働き方の多様化により、区役員の年齢は高齢化している傾向があります。現在、40 歳未満の若者や女性が登用された事例はないものの、地域内では多様な人々の地域活動への参画を促す工夫や取組の検討が少しずつ始まっています。		
今後の方向性	持続可能な自治会運営・活動に向けて、地域と行政との対話を行い、与謝野町が目指す地域協働のあり方を見出し、地域と行政の共通指針の策定を目指します。		

K P I	審議会等への女性の登用率		
基準値	目標値	最新値	達成率
27.1%[H30]	30.0%[R6]	27.8%[R4]	92.7%【B】
取組概要	与謝野町における審議会及び委員会の数は 32 あり、委員総数 349 人のうち女性委員は 97 人です。このうち女性委員の割合が 3 割以上の審議会及び委員会等の数は 15 で、女性委員のいない審議会及び委員会等の数は 2 となっています。		
今後の方向性	審議会等の政策・方針決定の場への女性委員の登用について積極的に取り組みます。		

K P I	障害者雇用の事業所数（京都はあとふる企業認証企業数）		
基準値	目標値	最新値	達成率
4 事業所[R1]	10 事業所[R6]	2 事業所[R4]	20.0%【D】
取組概要	京都府では平成 23 年度から障害のある方を積極的に雇用している事業所を、京都府障害者雇用推進企業（愛称：京都はあとふる企業）とし認証しており、令和 5 年 4 月 1 日現在で町内 2 事業所が認証を受けています。		

今後の方向性	障害のある方を積極的に雇用する事業所を増やすため、障害者雇用に関する普及・啓発を進めていく必要があります。
--------	---

K P I	農福連携による障害者雇用者数		
基準値	目標値	最新値	達成率
26 人[R1]	28 人[R6]	20 人[R4]	71.4%【C】
取組概要	障害のある方等が農業分野で活躍することを通じ、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取り組みである「農福連携」について、社会福祉法人が農産加工で展開しています。就労継続支援 A 型事業の閉鎖により、減となりました。		
今後の方向性	農業分野は、障害のある方にも親和性のある業種であり、今後も障害のある方の働く喜び、自信、生きがいの場として継続を期待します。		

K P I	シルバー人材センター登録者数		
基準値	目標値	最新値	達成率
170 人[H30]	190 人[R6]	163 人[R4]	85.8%【B】
取組概要	広域シルバー人材センター運営助成事業を通して、一人でも多くの高齢者が社会の担い手として長年培ってきた知識と能力を生かし、社会の一員として生き生きと働き、やりがいや生きがいを得ることのできる環境づくりに努めています。		
今後の方向性	宮津与謝シルバー人材センターの自主努力も求めながらも、安定した運営のために様々な支援を検討する必要があります。		

(2) 基本目標 2

地域ぐるみの出産・子育てを実現 ～子育てするならこのまちで～

【数値目標の評価】

数値目標	年間出生数・期間合計特殊出生率		
基準値	目標値	最新値	達成率
105 人[H30] 1.36[H30]	134 人[R6] 1.71[R6]	87 人[R4] 1.31[R4]	64.9%【B】 76.6%【B】

数値目標	18 歳以下の子を持つ世帯数の割合		
基準値	目標値	最新値	達成率
19.7%[H30]	20.0%[R6]	17.2%[R4]	86.0%【B】

数値目標	この地域で子育てをしたいと思う親の割合		
基準値	目標値	最新値	達成率
94.0%[H30]	100.0%[R6]	94.9%[R4]	94.9%【B】

【KPI の評価】

(ア) 切れ目のない妊娠・出産・子育て支援

K P I	離乳食教室等の参加率		
基準値	目標値	最新値	達成率
73.5%[H30]	95.0%[R6]	86.6%[R4]	91.2%【B】
取組概要	<p>乳幼児期からの正しい食事の摂り方や望ましい食習慣の定着を図るとともに、食を通じた豊かな人間性の形成や家族間の関係づくりを行うことを目的に、ハローベビープロジェクト事業と連携し、離乳食教室を実施しています。離乳食前期だけでなく、離乳食後期においても取り分け離乳食教室を開催するほか、子育て支援センターでの栄養士相談日も設けています。</p> <p>また、妊娠前からの適切な食生活が重要であることから、妊産婦等を対象とした食に関する学習の機会や情報提供を行いました。</p>		
今後の方向性	引き続き、成長に合わせた食育を推進するとともに、食に関する学習機会を提供していきます。		

K P I	乳幼児健診への参加率		
基準値	目標値	最新値	達成率
97.2%[H30]	98.0%[R6]	100%[R4]	102%【A】
取組概要	<p>4ヵ月児、10ヵ月児、1歳6ヵ月児、3歳児を対象に、身体の発育や発達についての診察や指導を行う乳幼児健診を実施しました。また、1歳6ヵ月児、2歳6ヵ月児、3歳児を対象に、歯科診察や歯科相談、フッ素塗布を行いました。</p>		
今後の方向性	引き続き、参加率の維持を図ります。		

K P I	京都府北部5市2町における産婦人科数（お産を取り扱う医療機関数）の維持		
基準値	目標値	最新値	達成率
14(9)箇所[H30]	14(9)箇所[R6]	11(9)箇所[R4]	78.6(100.0)%【B】
取組概要	<p>妊産婦健康診査は医師会委託事業とし産科医療機関と連携を図るとともに、産後ケア事業は2市2町、保健所、産科医療機関との連携による事業を推進しており、地域で安心して、出産、子育てが出来るような取り組みを行っています。</p>		
今後の方向性	中核医療機関、京都府立医科大学附属北部医療センターを中心に保健所、産科医療機関、近隣の市町と連携を密にし、産科医療の充実に取り組めます。		

(イ) 保育サービスの充実

K P I	利用している教育・保育に対する満足度		
基準値	目標値	最新値	達成率
86.3%[H30]	86.3%以上[R6]	93.7%[R4]	108.6%【A】
取組概要	<p>保護者の就労の有無に関係なく、同一施設での教育保育が受けられる認定こども園においては、早朝の時間外保育、延長保育、1号認定児の一時預かり保育（延長保育）や就園前の幼児を預かる一時保育を実施し、保護者の教育・保育ニーズに合わせた運営を行っています。</p> <p>また、保育所・園においても、多様な就労状況や家庭環境にあっても希望に応じた保育サービスが受けられるよう、標準保育時間のほかに、早朝の時間外保育や病児保育の実施など保育サービスの質の向上に努めています。</p> <p>こういった保育サービスに関するアンケート調査を各所・園において実施し、ニーズを把握しました。</p>		
今後の方向性	<p>就園前の慣らし保育の受け入れを実施するなど、教育・保育サービスのさらなる向上に努めます。</p>		

(ウ) 地域における子育て支援

K P I	未就園児の子育て支援センター利用率		
基準値	目標値	最新値	達成率
30.6%[H30]	50.0%[R6]	33.7%[R4]	67.4%【B】
取組概要	<p>就学前児童とその保護者、出産を控えたプレママ（里帰り出産・町内在住者）を対象に、町内3カ所に子育て支援センターを運営し、地域の身近なところで子育ての情報を入手したり、相談できる機会や場をつくり、子育てに関する不安や悩みの解決を図りました。</p>		
今後の方向性	<p>子育て支援センター利用者のニーズに合わせた柔軟な対応、利用者が安心して利用できる施設運営に努め、子育て不安等の解消につなげていきます。他方、将来的には、出生数や利用実績を考慮した上で、施設の統合等も検討していく必要があります。</p> <p>また、与謝野町ファミリーサポートセンターの運営など地域における子育て支援を進めていきます。</p>		

K P I	教育相談等の窓口設置数		
基準値	目標値	最新値	達成率
1箇所[H30]	1箇所[R6]	1箇所[R4]	100.0%【A】
取組概要	<p>不登校児童・生徒の指導や学校生活への復帰を目指すことを目的に、教育支援センター「トライアングル」を設置し、児童・生徒や保護者からの様々な相談を受けました。</p> <p>令和4年度においては、通所指導延べ303人、登校支援2回、学校等との連携延べ586回、保護者対応延べ214回を実施しました。</p>		
今後の方向性	<p>引き続き、教育支援センターにおいて集団生活への適応、自学自習、基本的な生活習慣の改善等のための相談及び支援を行います。</p>		

K P I	放課後児童クラブの実施校区率		
基準値	目標値	最新値	達成率
100.0%[H30]	100.0%[R6]	100.0%[R4]	100.0%【A】
取組概要	小学校区6校区すべてにおいて、放課後や夏休みなどに保護者の代わりに小学生を預かり、遊びや生活の場を提供する放課後児童クラブ（通称：学童保育）を実施しました。		
今後の方向性	引き続き、全小学校区における学童保育の実施を目指します。		

(工) 子育て家庭にやさしい環境の整備

K P I	特定目的優先の公共住宅戸数		
基準値	目標値	最新値	達成率
3戸[H30]	3戸[R6]	4戸[R4]	133.3%【A】
取組概要	子どもや子育て家庭が地域社会で安心して生活できるよう、住宅供給に努めました。府営住宅においては、一般募集とは別に子育て世帯や母子・父子世帯を対象に優先入居枠を確保し募集しました。		
今後の方向性	町営住宅には特定目的優先のものはありませんが、引き続き、町内の府営住宅の特定目的優先枠の広報を行います。		

K P I	地域見守り活動従事団体数		
基準値	目標値	最新値	達成率
13団体[H30]	13団体[R6]	13団体[R4]	100.0%【A】
取組概要	子ども見守り隊へ参画する、長寿会（老人会）、民生児童委員、PTA、教職員、宮津警察署（各交番）、スクールガードリーダー、各地区、防犯推進協議会、社会教育委員、婦人会、更生保護会、更生保護女性会、青少年健全育成会により、通学路の見守り活動等が行われました。		
今後の方向性	各団体の協力をいただき、引き続き、児童生徒の安心安全のために見守り活動を実施します。		

(3) 基本目標3

<p style="text-align: center;">持続可能な与謝野の産業をつくる ～与謝野町中小企業振興基本条例を核とした地域企業の育成～</p>
--

【数値目標の評価】

数値目標	新規創業件数		
基準値	目標値（累計）	最新値（累計）	達成率
28件[R1]	48件[R6]	49件[R4]	105%【A】

数値目標	新規就農者数		
基準値	目標値（累計）	最新値（累計）	達成率
40 人[R1]	49 人[R6]	45 件[R4]	55.6%【A】

数値目標	町内企業等従業者数減少の抑制		
基準値	目標値	最新値	達成率
7,658 人[H28]	6,750 人[R6]	7,686 [R3]※	113.9%【A】

※令和3年経済センサス（活動調査）の結果（令和4年公表）。

数値目標	優良農地の確保		
基準値	目標値	最新値	達成率
777ha[R1]	777ha[R6]	775ha[R4]	99.7%【B】

【KPI の評価】

（ア）地域企業の継続的な生産・経営基盤の確立

K P I	町内事業所数減少の抑制		
基準値	目標値	最新値	達成率
1,544 事業所[H30]	1,400 事業所[R6]	1,321 [R3]※	94.4%【B】
取組概要	産業振興連絡調整会議での議論から地域企業のニーズが高かった物価高騰対策支援を行いました。また、産業振興事業、織物振興対策事業等で幅広い業種の事業者支援を行いました。 ※令和3年経済センサス（活動調査）の結果		
今後の方向性	経営者の高齢化による廃業と培われた技術が喪失されることを抑止する取り組みを進めるとともに、地域の産業を支える地域企業の育成や起業・創業・事業承継の取組・支援を推進します。		

K P I	経営支援計画書の策定企業数		
基準値	目標値（累計）	最新値（累計）	達成率
260 社[R1]	360 社[R6]	513 社[R4]	253%【A】
取組概要	与謝野町商工会では、地域企業の育成やチャレンジ喚起を行うため、事業者が国・府・町の各種補助金や日本政策金融公庫融資等に提出する経営計画書の作成を支援しました。		
今後の方向性	与謝野町商工会とさらなる連携強化を図り、商工会への加入促進に協力するとともに、各種セミナーやゼミなどの取組みに対する支援を行います。		

K P I	設備投資会社数		
基準値	目標値（累計）	最新値（累計）	達成率
88 社[R1]	188 社[R6]	117 社[R4]	29.0%【A】
取組概要	企業活性化支援利子補給事業において、事業者が設備投資を行い融資を受けた際に支払われた利子額の一部を補助支援しました。		
今後の方向性	引き続き、事業者が行う必要な設備投資に対する企業活性化支援利子補給事業による支援を行います。		

K P I	創業ゼミ参加者数		
基準値	目標値（累計）	最新値（累計）	達成率
36 人[R1]	61 人[R6]	73 人[R4]	148%【A】
取組概要	丹後地域ビジネスサポートセンター（京丹後市商工会・伊根町商工会・宮津商工会議所・与謝野町商工会）主催により、創業を目指す方や経営について学びたい方などを対象に、創業に必要な知識の習得や創業する力を養成する創業ゼミを開催しました。		
今後の方向性	創業ゼミ開催に関する広報への協力を行うとともに、創業希望者の意見を反映した助成制度の検討を進めます。		

K P I	創業数・第二創業数・事業承継数		
基準値	目標値（累計）	最新値（累計）	達成率
37 件[R1]	62 件[R6]	75 件[R2]	152%【A】
取組概要	創業ゼミの開催や融資制度、国・府・町補助金などにより、起業・第二創業・事業承継などを喚起するとともに、商工会、金融機関、行政が連携して各種制度により支援を行いました。		
今後の方向性	引き続き、地域の産業を支える地域企業の育成や起業・第二創業・事業承継の取り組みを推進します。		

K P I	企業誘致で創業した企業数		
基準値	目標値（累計）	最新値（累計）	達成率
2 社[R1]	7 社[R6]	4 社[R4]	40.0%【A】
取組概要	町内進出企業2社を、企業立地促進条例に基づく奨励事業所として指定し、奨励金や助成金を交付するなどして企業誘致を促進しました。		
今後の方向性	京都府市町村企業誘致推進連絡会議と連携し適地情報の提供を強化するとともに、地域経済と雇用の状況を踏まえた柔軟な制度運用を進めます。		

(イ) 産業人財の確保・育成

K P I	人財育成セミナーの参加者数		
基準値	目標値（累計）	最新値（累計）	達成率
49 人[R1]	99 人[R6]	100 人[R4]	102%【A】
取組概要	商工会が主催する経営力向上や事業承継セミナーの開催を支援し、町が開催するよさのみらい大学ビジネス学部を開催し、産業人財の確保・育成に努めました。		
今後の方向性	商工会主催セミナー（経営力向上、事業承継、新型コロナウイルスに係る新業態のための IT サービス活用等）開催の継続的支援と、よさのみらい大学ビジネス学部における DX セミナー等の実施により、中小企業・小規模事業者の産業人財の確保・育成に努めます。		

K P I	京力農場プラン策定件数		
基準値	目標値（累計）	最新値（累計）	達成率
13 件[R1]	18 件[R6]	18 件[R4]	100%【A】
取組概要	将来の農地利用の在り方や担い手について地域の農業者が話し合いにより作成する「京力農場プラン」の策定を支援し、農業人材の確保・育成に努めました。		
今後の方向性	未策定地区については、農業委員と農林課職員で地区担当を決め、各地区（多面的機能支払交付金活動組織）に呼びかけ、策定を支援します。		

K P I	丹後就職フェア等就職活動に参加した企業数		
基準値	目標値（累計）	最新値（累計）	達成率
21 社[R1]	71 社[R6]	53 社[R4]	64.0%【A】
取組概要	「たんご就職フェア」等を開催し、学生や UII ターン希望者の地域企業への就職を促進しました。		
今後の方向性	引き続き、町内事業所に対し事業の周知を図り、参加を呼びかけます。		

K P I	企業 PR イベントに参加した企業数		
基準値	目標値（累計）	最新値（累計）	達成率
33 社[R1]	208 社[R6]	109 社[R4]	53.5%【A】
取組概要	商工会青年部の町内で活躍する地域企業の魅力発信イベントの開催を支援し、町内企業の PR に努めました。		
今後の方向性	引き続き、商工会特別事業補助金等により企業 PR イベントの開催を支援します。		

(ウ) 地域経済循環の確立

K P I	織物事業者所数減少の抑制		
基準値	目標値	最新値	達成率
337 事業所[R1]	230 事業所[R6]	300 事業所[R4]	130.4%【A】
取組概要	織物生産基盤支援事業や織物職人人材確保事業など、ハード・ソフト両面から織物振興対策事業を行い、織物事業者の生産基盤の維持と事業所数の減少抑制に努めました。		
今後の方向性	<p>織物生産設備に対する支援事業等により、織物事業者の新商品開発のための設備投資支援や事業継続を支援します。設備投資に対する支援については、投資計画や売上目標等のヒアリングにより投資効果を測定・検証し公平な補助事業の運用に努めます。</p> <p>また、織物技能訓練センターを活用した織物職人人材確保事業を継続します。</p>		

K P I	京の豆っこの生産量・京の豆っこ米の生産面積		
基準値	目標値	最新値	達成率
287t[R1] 138ha[R1]	334t[R6] 160ha[R6]	249t[R4] 117ha[R4]	74.6%【B】 73.1%【B】
取組概要	平成 29 年度に有機物供給施設増強整備工事を行い肥料の生産量、京の豆っこ米の生産面積とともに年々増加傾向にありましたが、令和 2 年度からのコロナ禍による消費の低迷による影響で、原材料の確保が出来ず、生産調整を行った事により減少傾向となりました。		
今後の方向性	<p>与謝野町が進めてきた自然循環農業は「みどりの食料システム戦略」の方向性に合致し、引き続き、「京の豆っこ肥料」「京の豆っこ米」を核として、与謝野町農業の振興を図ります。</p> <p>肥料の増産にあたっては、原材料の確保とともに、生産現場の労働環境の改善を進めます。</p>		

K P I	地域資源を活用した肥料の開発件数		
基準値	目標値（累計）	最新値（累計）	達成率
1 件[R1]	3 件[R6]	1 件[R4]	0%【D】
取組概要	近年、京の豆っこ肥料の原材料不足が生じており、その確保と既存肥料の製造を第一優先にしたことで、新規肥料の試験製造に着手できていません。		
今後の方向性	地域資源を活用した肥料の開発は、与謝野町の自然循環農業をより進めるものであり、今後も研究・検討を続けていきます。		

K P I	e-kakashi 導入件数		
基準値	目標値	最新値	達成率
15 件[R1]	15 件[R6]	4 件[R4]	26.7%【D】

取組概要	農場に設置したセンサーにより収集した情報を AI（人工知能）で分析し、最適な生育環境を導くサービスである「e-kakashi」を平成 27 年から、稲作と施設園芸に導入しています。収集・分析されたデータはスマートフォン等でリアルタイムに確認することができ、ベテラン農業者が培ってきた栽培技術を新規就農者へ効率的に継承するとともに、栽培管理にも役立てることができています。
今後の方向性	引き続き、運用支援を続けていきます。

K P I	産業間連携で生まれた商品数		
基準値	目標値（累計）	最新値（累計）	達成率
11 件[R1]	26 件[R6]	32 件[R4]	140%【A】
取組概要	商工会料飲業部会員が行う地産地消、安心安全な料理の提供を目的とした新メニューづくりに支援をしました。		
今後の方向性	商工会専門部会への支援や商工会ステップアップ補助金等の活用を促進し、産業間連携を進めます。		

K P I	地域特性を活かした新たな商品開発数		
基準値	目標値（累計）	最新値（累計）	達成率
19 件[R1]	34 件[R6]	42 件[R4]	153.3%【A】
取組概要	町外事業者と町内の地域企業との連携を促す事業者連携促進事業を実施しました。また、商工会による専門部会への補助金により、ふるさと納税の返礼品となる特産品の開発の支援など、新商品開発を支援しました。		
今後の方向性	自社ブランドの新商品開発の必要性が高まる中、売れる商品づくりを促進するため、各事業者の技術を生かした新商品等と与謝野町特産品として認定し HP 等で普及、ふるさと納税の返礼品としてラインナップしていくなど、引き続き支援を行います。		

K P I	先端設備等導入計画の認定数		
基準値	目標値（累計）	最新値（累計）	達成率
13 件[R1]	28 件[R6]	24 件[R4]	73.3%【A】
取組概要	中小企業・小規模事業者等が未来技術等を導入し労働生産性の向上を図るために行う設備投資を後押しするため、中小企業等経営強化法に基づき、先端設備等導入計画の認定を行いました。		
今後の方向性	令和 3 年度に先端設備等導入計画の認定期間を 2 年延長し、令和 5 年度が計画の更新年であるため、引き続き計画を延長して先端設備の導入を支援していきます。		

(工) 地域資源の情報発信と関係人口の拡大

K P I	ホームページ等による地域資源の魅力発信		
基準値	目標値（累計）	最新値（累計）	達成率
50 件[R1]	100 件[R6]	207 件[R4]	314%【A】
取組概要	<p>与謝野町公式ホームページや Facebook、YouTube を通して情報発信を行いました。特化型サイトとしては、YOSANO AGRICYCLE、織りなす人、ひらく織、よさのみらい大学の運用を行いました。</p> <p>また、町内事業者が自社商品・サービスの魅力発信やオンライン販売を行うためのホームページ開設に対して補助支援を行いました。</p>		
今後の方向性	<p>庁内の広報広聴体制を強化し地域資源の把握・掘り起こしに努め、町ホームページにおいては、産業振興に特化したページを立上げ、SNS、YouTube 等の媒体による情報発信を拡大します。</p>		

K P I	地域の産業や仕事体験イベント等への参加者数（年間）		
基準値	目標値	最新値	達成率
5,475 人[R1]	8,000 人[R6]	1,020 人[R4]	12.8%【D】
取組概要	<p>まちぐる事業や収穫体験などの開催を支援し、地域企業や産業へ多様に関わる人財の獲得につなげました。</p>		
今後の方向性	<p>引き続き、商工会専門部会や観光協会が実施する地域産業体験イベントや観光コンテンツ造成への支援を行います。</p>		

K P I	農家データベースへの登録件数		
基準値	目標値（累計）	最新値（累計）	達成率
0 件[R1]	30 件[R6]	24 件[R4]	80.0%【A】
取組概要	<p>与謝野町農業ポータルサイト「YOSANO AGRICYCLE」内で農家の紹介とともに、販売品目、連絡先等も掲載し消費者と農家をつなぐことのできる内容となっています。</p>		
今後の方向性	<p>登録件数増を目指し、農家への働きかけを進めていきます。</p>		

(オ) 持続的経済を目指す調査研究

K P I	調査研究会議の開催数		
基準値	目標値（累計）	最新値（累計）	達成率
0 回[R1]	5 回[R6]	38 回[R4]	760%【A】
取組概要	<p>令和3年6月に設立された「与謝野町地域経済分析会議」において、与謝野町地域経済分析報告書がまとめられ、初めて町の経済の見える化ができた。分析から町の発展に繋がる施策の検討を町、商工会等で進めています。</p>		

今後の方向性	令和5年に立ち上げた第7期産業振興会議において調査研究から施策展開までの議論を進めていきます。また、地域の経済状況も変化することから、調査が継続して実施できる仕組みを検討していきたいと考えています。
--------	---

(4) 基本目標4

<p style="text-align: center;">まちへの人の流れをつくる ～人と仕事の魅力で、交わる、関わる、集うまち～</p>

【数値目標の評価】

数値目標	京都府北部5市2町以外からの転入者数（年間）		
基準値	目標値	最新値	達成率
243 人[H30]	250 人[R6]	219 件[R4]	87.6%【B】

数値目標	与謝野町に住み続けたいと思う人の割合		
基準値	目標値（累計）	最新値（累計）	達成率
67.6%[R1]	67.6%以上[R6]	69.5% [R4]	102.8%【A】

数値目標	観光入込客数（年間）		
基準値	目標値	最新値	達成率
430 千人[H30]	574 千人[R6]	332 千人[R4]	57.8%【C】
数値目標	観光消費額（年間）		
基準値	目標値	最新値	達成率
5.7 億円[H30]	7.6 億円[R6]	4.8 億円[R4]	56.6%【C】

【KPI の評価】

(ア) まちなかの魅力発見、掘起し、そして共感

K P I	町関連 SNS いいね！数		
基準値	目標値	最新値	達成率
5,243[R1]	10,000[R6]	6,406[R4]	64.1%【B】
取組概要	プロジェクト単位で存在した町関連の SNS を整理し、町公式フェイスブックページに一本化し定期的に情報発信を行いました。町関連 SNS として、与謝野町観光協会や与謝野町商工会青年部、自治会などさまざまな地域団体においても情報発信が行われました。		
今後の方向性	令和5年度は公式フェイスブックページに加え、公式 Instagram、公式 LINE を開設し、幅広い年代に情報を届ける仕組みを構築します。		

K P I	与謝野町産業創出交流センター利用件数		
基準値	目標値（累計）	最新値（累計）	達成率
300 件[H30]	2,720 件[R6]※	1,251 件[R4]	39.3%【A】
取組概要	<p>利用形態として、町内事業者の第二創業支援、事業継続支援、学生等誘致事業などがあり、新たなビジネス創出や、地域住民及び事業者など様々な人材の交流を促進し、産業振興及び地域活性化を図りました。</p> <p>また、「よさのみらい大学ビジネス学部」ではデジタル化セミナー、女性のしごと・雇用創出イベント、地域経済分析報告書ワークショップの3講座を実施しました。</p>		
今後の方向性	施設の設置目的に沿った利用がさらに増えるよう、民間運営への移行に向けた検討を進めていきます。		

※目標値変更

K P I	空き家（空き家バンク登録物件）成約件数		
基準値	目標値（累計）	最新値（累計）	達成率
1 件[H30]	13 件[R6]※	23 件[R4]	183.3%【A】
取組概要	<p>町内の空き家情報は、京都府北部 UI ターンプロジェクト「たんたんターン」で発信するとともに、移住希望者と空き家のマッチングを行うなど、移住促進を図りました。</p>		
今後の方向性	引き続き、空き家バンクへの登録を促進し、各種補助制度等との連携を図り移住促進を図っていきます。		

※目標値変更

K P I	ふるさと納税件数		
基準値	目標値（累計）	最新値（累計）	達成率
836 件[H30]	6,838 件[R6]※	9,036 件[R4]	136.6%【A】
取組概要	<p>個人を対象とするふるさと納税に加え、特定のプロジェクトを応援できるクラウドファンディング型ふるさと納税や企業版ふるさと納税にも取り組んでおり、令和4年度は、納税件数と納税額ともに過去最高を記録しました。</p>		
今後の方向性	庁内横断的に取り組む体制を整え、与謝野町ならではの返礼品の充実、PR 向上を図ります。		

※目標値変更

（イ）よさの暮らしをイメージする体験型交流の推進

K P I	体験/滞在型コンテンツ数		
基準値	目標値（累計）	最新値（累計）	達成率
6 件[H30]	12 件[R6]※	32 件[R4]	433.3%【A】

取組概要	観光協会により、「手織り体験」「組み紐体験」「ガイドツアー」「ホップ収穫体験」等の体験プログラムが実施されました。 また、町内外の団体と観光協会の連携により「本格着物体験」「織物工房めぐり」「大江山トレイル」等も実施されました。
今後の方向性	マイクロツーリズムに対応した旅行商品の造成について、観光協会や関係事業者とともに既存コンテンツのブラッシュアップや集約を行います。

※目標値変更

K P I	体験観光プログラム参加者数（年間）		
基準値	目標値	最新値	達成率
1,645 人[H30]	3,300 人[R6]	1,793 人[R4]	54.3%【C】
取組概要	観光協会や関係事業者との連携により体験観光プログラムを実施し、町内外から 1,793 人が参加しました。町の基幹産業（織物業、農業）や伝建地区等の魅力を体感するコンテンツを提供しました。		
今後の方向性	「体験・退館するよさの」をテーマに、リピーター層を増やし長期滞在を促すような観光コンテンツを展開していきます。		

K P I	お試し住宅の設置		
基準値	目標値	最新値	達成率
0 箇所[H30]	1 箇所[R6]	1 箇所[R4]	100.0%【A】
取組概要	与謝野町での暮らしを実際に体験できるお試し住宅を岩屋地区に設置し、移住促進を図りました。		
今後の方向性	既存のお試し住宅が利用できなくなる可能性があるため、新たな住宅候補を検討していきます。		

K P I	お試し居住世帯数		
基準値	目標値（累計）	最新値（累計）	達成率
0 世帯	6 世帯[R6]※	17 世帯[R4]	283.3%【A】
取組概要	移住を希望される家族等に、上記お試し住宅を貸し出し、与謝野町での仕事や地域との関わりなど移住後の暮らしをイメージして生活してもらいました。		
今後の方向性	現在の貸出状況を維持しつつ、過去の利用者の移住状況も検証していきます。		

※目標値変更

（ウ）移住定住支援の強化

K P I	移住促進特別区域への移住世帯数		
基準値	目標値（累計）	最新値（累計）	達成率
2 世帯[H30]	8 世帯[R6]※	12 世帯[R4]	166.7%【A】

取組概要	人口減少等により特別な対策を講じる必要性がある区域を移住促進特別区域に指定したことにより、移住者には有利な補助金制度もあることから１２世帯の移住につながりました。
今後の方向性	移住促進特別区域について、住民の理解と協力を得られるよう周知を図ります。

※目標値変更

K P I	移住等に関する民間による相談窓口の設置		
基準値	目標値	最新値	達成率
0 箇所[H30]	1 箇所[R6]	1 箇所[R4]	100%【A】
取組概要	与謝野町への移住・定住の促進を図るため、移住希望者に対する情報提供や相談、移住者の生活サポート等を担っていただく「与謝野町移住・定住アンバサダー」は、令和４年度末現在８人・９社を認定しています。		
今後の方向性	民間ノウハウを活用した移住定住ワンストップ相談窓口として、引き続き休日相談窓口を設置し、移住者と受入者（空き家提供者等）相互にとっての更なるサービス向上を図ります。		

（５）基本目標５

<p style="text-align: center;">地域と地域が連携し、持続可能なまちをつくる ～新しい時代の流れを力に、つながり助け合って、安心・元気な暮らしを実現～</p>
--

【数値目標の評価】

数値目標	隣組へ加入している世帯の割合		
基準値	目標値	最新値	達成率
77.3%[H30]	80.0%[R6]	81.0%[R4]	101.3%【A】

数値目標	自治会数		
基準値	目標値	最新値	達成率
24 自治会[R1]	24 自治会[R6]	24 自治会[R4]	100%【A】

数値目標	公共交通空白地区数		
基準値	目標値	最新値	達成率
0 地区[R1]	0 地区[R6]	0 地区[R4]	100%【A】

【KPI の評価】

(ア) 地域住民による地域づくりの推進

K P I	地域運営組織の形成と持続的運営に向けた懇談や研修等の回数		
基準値	目標値（累計）	最新値（累計）	達成率
2 回[R1]	7 回[R6]	9 回[R4]	140%【A】
取組概要	協働のまちづくり調査事業に取り組む4区の事業内容について、区長連絡協議会で報告するとともに、事業報告会を開催し、取組内容を共有しました。		
今後の方向性	地域間交流・対話を進め、持続可能な地域づくりに向けた意識醸成を図ります。		

K P I	課題の解決に向けて地域の将来像について話し合いを進める自治会数		
基準値	目標値	最新値	達成率
2 自治会[R1]	24 自治会[R6]	4 自治会[R4]	16.7%【D】
取組概要	地域の課題解決に取り組んでいくための持続可能な仕組みや、地域と行政との協働のあり方など、地域の将来像を地域で考える「協働のまちづくり調査事業」を4自治会内で実施され、実証事業にも取り組まれました。		
今後の方向性	引き続き町内24の自治会をはじめ様々な団体の自主的・主体的な活動を支援するとともに、その活動拠点の整備に努めます。 また、持続可能な自治会運営・活動に向けた対話を進めます。		

(イ) 誰もが暮らしやすい生活環境の整備

K P I	与謝野駅の年間利用者数		
基準値	目標値	最新値	達成率
22,283 人[H30]	22,500 人[R6]	14,455 人[R4]	64.2%【B】
取組概要	新型コロナウイルスにより利用者数が落ち込みましたが、WILLER TRAINS 株式会社が運行する京都丹後鉄道と沿線自治体でイベントの開催等の利用促進をして、利用人数の確保に取り組みました。。		
今後の方向性	与謝野駅は町にある唯一の鉄道駅であり、地域の移動手段だけでなく観光客の玄関口として、京都丹後鉄道、海の京都 DM0、地域との連携により誘客に努めます。		

K P I	町内のバスの路線数		
基準値	目標値	最新値	達成率
9 路線[R1]	9 路線[R6]	9 路線[R4]	100%【A】

取組概要	<p>丹海バスに補助金を交付し、200 円バスなどの利用促進事業に取り組みとともに、バス路線の維持確保を図りました。</p> <p>また、交通不便地区住民の日常生活に必要な交通手段を確保するため、町営バスを運行し、令和 2 年 10 月から丹海のバス路線（病院線）再編にあわせ、岩屋地区における町営バスの運行をスタートさせ、週 2 日運行から 3 日運行へサービス改善を行いました。</p>
今後の方向性	<p>丹海バスや町営バスは移動手段を持たない町民にとって必要不可欠なインフラであり、目標値を維持できるように沿線自治体でも利用促進や支援を行います。</p> <p>また、令和 5 年 10 月から路線を一部再編して予約型乗合交通の実証運行を開始し、持続可能な交通体系の維持確保に努めます。</p>

K P I	AI、IoT などの未来技術の活用数		
基準値	目標値（累計）	最新値（累計）	達成率
2 件[R1]	5 件[R6]	4 件[R4]	66.7%【A】
取組概要	<p>これまでは農業分野において IoT 技術を活用した「e-kakashi」「LoRaWAN」の導入を進めてきたほか、AI による議事録作成ツールを導入し、職員の事務軽減を図っています。</p>		
今後の方向性	<p>国が策定した「みどりの食料システム戦略」において、担い手不足の課題解決の手段の一つとして、また環境負荷を減らすための手段として、スマート農業の取り組みが示されており、与謝野町の農業の実情に合致したものについては実施に向けて検討を進めていきます。</p> <p>また、国が進める自治体 DX（デジタル・トランスフォーメーション）推進計画の動向を見ながら、行政手続のオンライン化など住民の利便性向上に向けた取り組みを検討します。</p>		

（ウ）京都府北部広域連携事業の推進、自治体間交流

K P I	京都府北部 5 市 2 町連携事業件数		
基準値	目標値（累計）	最新値（累計）	達成率
7 事業[H30]	11 事業[R6]	14 事業[R4]	175%【A】
取組概要	<p>福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町で構成する京都府北部地域連携都市圏において様々な取り組みを行いました。令和 4 年度では、災害時等相互応援協定の締結が実現し、広域防災体制を構築しました。</p>		
今後の方向性	<p>継続事業に加え、第 2 期連携ビジョン（令和 3～7 年度）に基づき、圏域内の公共交通の利便性向上に向けた取り組みや、地域における技術職員等専門人材の育成、環境・防災分野の連携など、持続可能な圏域の形成を目指した新たな取り組みを検討・推進します。</p>		

(工) 豊かな自然環境の維持と活用

K P I	SDGs の理念に沿った環境にかかる取り組み数		
基準値	目標値（累計）	最新値（累計）	達成率
5 件[H30]	10 件[R6]	6 件[R4]	20.0%【A】
取組概要	<p>側溝等の泥上げを行う「一斉清掃」や「クリーン作戦」、気軽に清掃活動を行う「ちょこっとボランティア」（通称：ちょこボラ）が多数の町民の参加のもと実施されました。</p> <p>また、環境団体「みらいふ」により、グリーンカーテン講習会やちょこボラ DAY など各種環境保全啓発事業が行われました。</p>		
今後の方向性	<p>引き続き、既存事業を継続するとともに、エネルギー分野での取り組みや、京都府北部 5 市 2 町連携事業において広域連携事業の検討を進めます。</p>		

K P I	新ごみ処理施設のクリーンエネルギー発電量		
基準値	目標値	最新値	達成率
0MWh[R1]	1,294MWh[R6]	1,367MWh[R4]	105.6%【A】
取組概要	<p>宮津与謝クリーンセンターにおいて、生ごみを活用したバイオマス発電を実施し、発電した電気は全量を FIT 電気（再生可能エネルギー電気）として売電しました。</p>		
今後の方向性	<p>発電した電気を町内の小中学校などの公共施設に供給し、エネルギーの地産地消を推進するとともに、環境学習にも活用したいと考えており、実施に向けて検討を進めていますが、売電収入が高いことから地産地消には至らない状況にあります。</p>		

K P I	田んぼダム取組面積		
基準値	目標値	最新値	達成率
0ha[R1]	1ha[R6]	0ha[R4]	0%【D】
取組概要	<p>水田が持っている水をためる機能を利用し、大雨時に水田に一時的に雨水をためることで、排水路が河川への流出を抑制し、洪水被害を軽減する取り組みで、農業者が簡単に始められる地域防災の取り組みとして注目されていますが、実際の運用にあたって、耕作者の理解や農地の補強等の課題もありハードルが高いことが分かりました。</p>		
今後の方向性	<p>防災・減災面からも、引き続き導入に向けた研究を進めるとともに、田んぼダムに限らずグリーンインフラについて研究を進めます。</p>		

K P I	野田川の BOD 値		
基準値	目標値	最新値	達成率
不検出[R1]	不検出[R6] (0.5mg/l 未満)	0.6mg/l[R4] 堂谷橋 0.7mg/l[R4] 大江山橋 1.2mg/l[R4] 三村橋 0.5mg/l[R4] 岩滝橋	未達成【D】
取組概要	<p>BOD は水質指標の一つで、水中の有機物などの量をその酸化分解のために微生物が必要とする酸素量で表したもので、一般的に値が大きいほど水質は悪いと言えます。</p> <p>数値が検出されましたが、河川がとても汚くなったという数値ではありません（環境基準は 3.0mg/l）。河川水の検出日の状況（雨が降ってからまだ間もない日であったなど）で数値が表れたことが要因で、特定の環境悪化によるものではありません。</p>		
今後の方向性	不検出（0.5mg/l 未満）を目指し、引き続き環境保全啓発の取組を推進します。		